

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		建物の構造上、施設内に段差が生じる箇所があるため、「段差注意」の注意喚気をしている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			支援前後に支援ミーティングを行い、現状の把握と次の目標の確認を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			令和6年4月にアンケートを実施した。結果を職員間で周知し、改善に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			同年5月にホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	未実施
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			年間研修に沿った内部研修の他、外部研修への参加もやっている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			各保護者様との定期的な面談に基づき、課題と目標を検討した上で計画を作成している。
適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			法人共通のプログラムを運用している。子供の支援課題の可視化を行い、新課題の共有を図っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			児童の特性を考慮した活動が行えるよう、ミーティング等で立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節ごとの行事や課外活動、児童の特性に合わせたプログラムを立案し、帰りの会（グローイングプログラム）の時間に行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			毎日のミーティングにて児童の課題を職員間で共有をしている。 一人一人の特性についての理解を深め、支援時間に 応じて個別の課題設定を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			児童発達支援は、主に個別活動をプログラムに取り組み、放課後等デイサービスは、個別活動、集団活動の両方を取り組み、計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			当日のミーティングにて支援の留意事項や役割分担等の確認を行っている。午後に出勤する職員に対しても、上記の内容の申し送りを行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			業務終了後に振り返りを行い、プログラムの支援記録を残している。また申し送りノートを活用し、情報共有を行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			サービス提供記録や法人独自のプログラムを用いて記録を残し、振り返りの時間を設け、改善に努めている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6か月ごとの保護者面談により情報を更新し、日々のミーティング等で情報共有を行い、見直しをしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			管理者が中心となって参加するほか、直接支援を行う児童指導員も参画している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			児童発達支援は、保護者から聞き取りを行い、放課後等デイサービスは、学校主催の会議や連絡会へ出席を行っている。連絡帳の相互閲覧によって情報共有を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現状、医療的ケアの必要な児童が通所していない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			保育所等訪問支援員からのフィードバック記録や、保育所等からの就学支援シートを確認し、情報共有を行っている。また三鷹市の児童発達支援事業所連絡会に参加している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか			○	児童発達支援に関しては、支援内容等の情報を提供している。放課後等デイサービスは、本年度2名卒業予定。今後、就労移行支援事業所等と情報の交換を行う予定。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			子ども発達センター主催の児童発達支援事業所連絡会に参加し、情報交換の他、くるみ幼稚園への見学会に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	公園やコミュニティーセンターの利用はしている。障がいのない子供との計画的なかかわりの場を設けることはしていない。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			主に管理者・児童発達管理責任者が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳や送迎時にて情報共有を行い、共通理解を深めている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			ペアレントトレーニングを基盤とした相談援助を行っている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約面談時に読み合わせを行い、内容の確認を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			連絡帳やお迎え時の聞き取りに対し、口頭や電話での相談援助を行っている。また必要に応じて、定期以外の面談も実施している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			令和5年10月に保護者会を実施。支援内容や活動内容の紹介のほか、育児相談の時間を設け、各家庭ごとの課題を共有することができた。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情相談窓口（管理者）を設け、都度迅速に対応し、再発防止策の提示を行っている。

	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月通信を発行している。 また、ホームページ、インスタグラムでも活動の様子を定期的に発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			当日のスケジュールをホワイトボードで提示し、見通しがつくようにしている。また発達段階に合わせ、個別スケジュールや絵カード等の必要な伝達方法も用いている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			ハロウィン等のイベントを行う際は、近隣の店舗に協力をいただいている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			年2回の防災避難訓練やミーティングを通して周知している。保護者様へは、契約時に説明をし、事業所内に保護者閲覧ファイルを設置している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			安全計画に基づき、毎月の安全点検等を行っている。また年2回の防災避難訓練の実施のほか、定期的な内部研修を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			内部研修を実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		虐待防止マニュアルにて規定を定めている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アセスメントシートに書かれた保護者からの申し出により対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット報告書を作成し、迅速なミーティングの実施と全職員への周知を行っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか。または限られたスペースを工夫し有効利用しているか	22			2	活動の様子を見ていないため分からない。 →パーティション用いて、各活動へ集中できるような環境整備を行っている。
	2	施設内、車両は整理整頓がされているか	21			4	
	3	事業所の感染症対策意識に対し、満足しているか	14	2		9	活動の様子を見ていないため分からない。 →児童、他来所者の検温を実施。支援終了後の施設内のアルコール消毒を実施。
	4	職員の配置数や専門性は適切であるか	19	4		2	STやOTなどの専門性についてが分からない。 →現在ST、OTの配置はなし。臨床心理士の心理指導あり。児童の課題に応じて発語練習や感覚統合運動、手先の練習などを実施している。
	5	保護者及び子どもへの職員の対応は適切だと感じているか	23	1		1	
	6	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11			14	活動の様子を見ていないため分からない。 →建物の構造上、施設内に段差が生じる箇所があるため、「段差注意」の注意喚起をしている。
適切な 支援の 提供	7	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	25				・保護者の意見を聞いてくれる機会があり、助かる。 ・柔軟な対応をしてくれている。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	19	3	1	2	外出の機会が多く、良い経験になっている。
	9	放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	2	2	13	・具体的に伝えられていないため不明。 ・交流は無くても良い。 ・経験が無い。 →公園やコミュニティーセンターの利用はあるが、計画的に障がいのない子どもとの交流の場を設けてはいない。
保護者 への 説明等	10	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	24	1			・基本的な説明が省かれていたように思う。 →契約面談時に契約書等の説明を行っていますが、丁寧に行うよう改善します。
	11	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	25				
	12	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	23	2			連絡帳、送迎時などに情報交換ができている
	13	保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	19	1	1	4	
	14	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18	1		6	
	15	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24	1			
	16	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	22	1	1	1	
	17	個人情報に十分注意しているか	25				

非常時等の対応	18	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	21			4	
	19	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練が行われているか	18	1		6	
満足度	20	子どもは通所を楽しみにしているか	22	1		2	<ul style="list-style-type: none"> ・嫌がったことはない ・いつも通所を楽しみにしている
	21	事業所の支援に満足しているか	25				